

# フライトシミュレーター、ドローン操縦

中日本航空専門学校(関市迫間)のオープンキャンパスが同校であり、県内外の高校生らが、来年4月新設の「航空ロボティクス科」の体験プログラムなどを通じて同校の学びに触れた。同校が独自に企画した航空機関連グッズがもらえる「CNAガチャ」も人気を集めた。

(佐名妙予)

航空ロボティクス科は、自動操縦など、業界で急速に進む自動化に対応できる人材育成を狙いに、従来の航空整備科航空電子コースを移行する形で設置する。定員40人。

同科の学習体験として、フライトシミュレーター、ドローン操縦、協働ロボット操作の体験が用意され、高校生らが最新の航空技術に触れた。

また、3Dプリンターで作ったコインを入れると航空機関連グッズが当たる「CNAガチャ」では、実

## 高校生、航空技術に触れる

### オープンキャンパス 中日本航空専門学校で体験



際の機体に使われているナット、ボルトのほか、航空機用アルミ合金、炭素繊維複合材などをキーホルダーに仕立てたレアなグッズが参加者に手渡された。中村寿志校長は「『ワクワク、ドキドキ』するような

趣向を凝らした企画を教職員一丸で準備した」と話した。8月7、20日、9月10日、10月1日、11月5日も開催。今月30、31日は、1日学生体験ができる学科スペシャルオープンキャンパスも開

く。いずれも同校のホームページから申し込む。問い合わせは同校、電話0575(24)2521。



CNAガチャの景品を見せる参加者と中村寿志校長(左)＝同

フライトシミュレーターで自動操縦について学ぶ参加者＝関市迫間、中日本航空専門学校